



発行 新屋振興会 編集 田村芳蔵 印刷 共和印刷所 明るい家庭は朝日から 朝日新聞専売所

総工費二百六十五万円

新屋公民館 仮称を建設

全町挙げて工事完成期す

全町民待望の新屋公民館(仮称)は敷地を日吉神社境内、正門鳥井左側高地に予定、工事費予算二百六十五万円で年内棟上式を目標に計画を進めていたが、観光風致と都市計画、市側と再度交渉しなければならぬ点もあり建設委員会では市側の意向を検討しつつ、寄々協議を進めている。なお建設は敷地決定を見たと、其榮組の手で着工されるが、新屋公民館(仮称)の誕生は全町民にとって新春の好話題である。

【解説】

新屋公民館(仮称)建設委員会設立に至った事情は、昭和卅三年が日吉神社創立百五十年に当たるので、これが記念行事の一環として神社の一部建物を増築し、小集の出来るようなものがほしい、と高橋氏子孫からの考えから発展し、実現させるなら立派なもの、と建設委員が提案していた矢先、これに新生活運動協議会、振興会、町内連合会、婦人会など加わり、全町民の心にまで浸透して来た。そこで町内有力者から一部骨格の寄贈があつたので建設委員の意向が昂まり、実行に移すべく新屋公民館(仮称)設立委員会を組織し約三百人を収容する集会所

建坪は百十三坪

大小の集会に利用

新屋公民館(仮称)の建築様式は、所、小さな寄り合い会館のため、木造平家建、防火構造、瓦葺き一層三ツ(通)玄関、事務室、宿直室、炊事室、更衣室、便所となつて居る。約二万三千五百円の工費である。

主張 ガス施設誘致の機会

総意結集 事に当れ

秋田市に於ける新屋町の文化的で後進しなかつたことは残念な極、地位は今この所聞合に恵まれて居る。又道路の舗装も幹線道路から次第に行われつつあることは同様の事である。交通に於ては、浜田線が通り、第一に行われつつあることは同様の事である。下浜線が通り又岩崎線が通つて極めて便利である。但し平直に言つてそのために交通費が知らず振りと振るとは、町民の不断の努力と努力の結果であることをお互に認めたい。

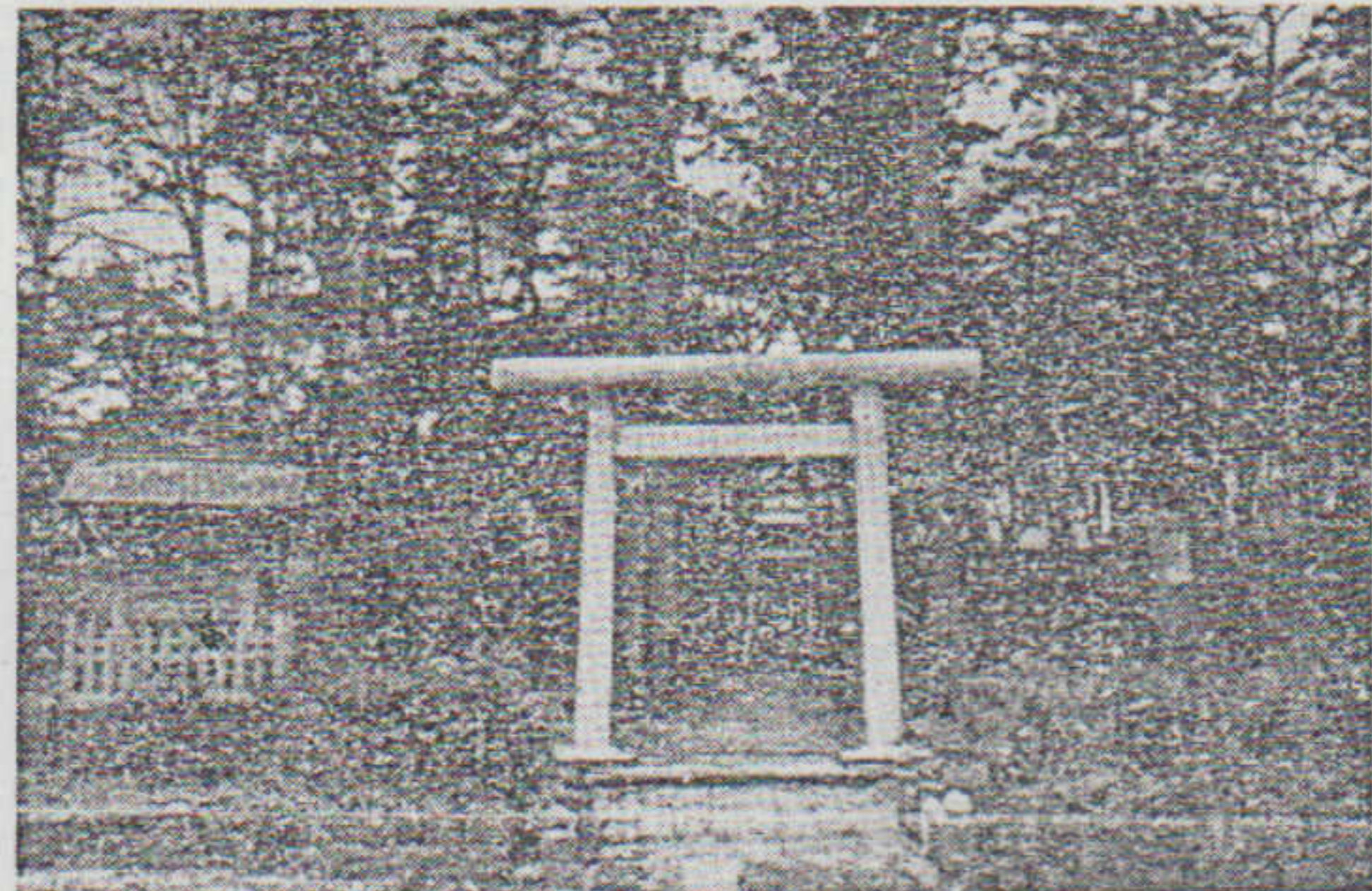
又永年の希望であつた水道も、大規模の城に造つて来たこと「ガス」である。この施設がないため、燃料には不便を感じて居る。高木炭を用いた長い時間を炊事、とて、この機会を逃がさず、

決意新たに建設へ邁進

新屋振興会長 穂積孝悌



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。決意新たに致しております。成金の春を迎え、皆さん、益々御人工衛生が地球を廻る宇宙時代と壮健で共に喜びに堪えませぬ。新屋振興会も皆さんの日頃の御鞭撻と御声援により、善々諸般の建設的事を推進して参りましたが、本号掲載の去る九月廿五日行われた市当局との懇談会記事にも見られる通り、町としての切実な要望も多々ありますので、町の皆さんと共に、更に結束を固め、振興計画を強力に推し進めて行きたいと、目を歩かせられて居るような気分



日吉神社は大同二年、割山に創始せられ、八百年前現在地に遷座された。今年には150年祭を迎え盛大な行事が行われる。

が致します。私共の生活が国際情勢と結ぶつており、政局設が着工の運びになつたことであるに無関心ではいられないから、建設途上、関係当局と改め、而し宇宙時代でも天ばかり仰めて接渉しなければならぬ場面いではおられません。先ず身近な委員会に緊密な連携の下に工事完了の目的に向つて邁進致したいとせん。要は何をするにも財源を思ひます。いにし馬 犬を駆りても今年こそ揃えて慶ばん共々に

設立 五十八名

- 新屋公民館(仮称)設立委員会役員は次の通り
名譽委員長 川村 義三
相談役 大島昌一郎
委員長 横山 吉蔵
副委員長 横山 吉蔵
事務局長 高橋 松之助
工務委員長 同
ほか各種団体役員、町内会長、氏子総代、各町内二名宛、総計五十八名である。

公民館略図

10帖	10帖	10帖	女 関
事務室	宿直室	炊事室	更衣室
便所	押入		

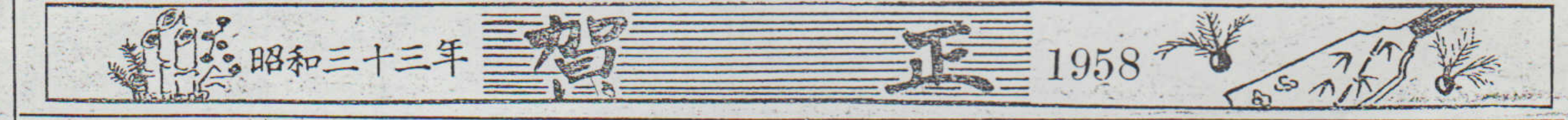
外旭川公民館視察

十月十八日午後二時、穂積振興会長、大島交所長、横山吉蔵氏、高橋松之助氏、大塚作治氏、池田支所長代理らの一行は、新屋公民館(仮称)建設についての参考資料を得るため、外旭川公民館に赴き、同館の進捗事から建設工事の状況と運営の実態につき、詳細な説明を聴取して帰つた。

集会所

正 大島清蔵
副 田村芳蔵
編 栗原光
集 賀

あけましておめでとうございませう。衆報、第七号の編集に当り御寄稿された方々、写真提供願つた鹿嶋行さん、高橋清一さん、広西に御協力下さつた各位に厚く御礼申し上げます。



新屋振興会

会長 穂積孝悌
他 会員一同

新屋支所

支所長 大島昌一郎
他 職員一同

日吉神社

宮司 石沢久英
氏子総代一同

新屋地区隊

隊長 森川亮次郎
他 隊員一同

新屋婦人会

会長 工藤コソ
他 会員一同

日新中学校長

田原福次郎
PTA 会長 渡辺哲太郎
日新小学校長 近藤国一
PTA 会長 高橋松之助



生活雑記 新生活運動 川村義三

日本人は生命を犠牲にする民族である。身体に苦痛を感じた場合は即時医療...

切実な要望ばかり 市側は実現・善処を約す

市民の理解と支持のもとに市政の進展をはかるべく、公聴活動の一環として...

一般市政 市議会の臨時会を開く問題は議員多数の地区が有利のようだが...

答 距離や時間の関係で今の所飯塚地区を予定している。...

件で、三百六十五億円の損失である人命尊重と火災防止によつて一応...

答 許可した業者との関係で市営法取りは困難だ。明年度から継続事業として消化槽、腐埃焼却炉の設置を計画している。...

問 日新小学校裏に買収予定地がある。最近民家が立ち始め、火災予防上から早急買収して校地を拡張してほしい。...

問 公民館改修を要する。市としては既存の建物に施設を充てて公民館活動をやっていく。財政面で困難だが、本館買収費が削減された場合は財政当局とも相談して善処したい。...

問 新築市庁舎の建築費は、個人の負担を軽減してほしい。個人の負担は各人で実施を願うより市が負担すべきではないか。...

問 新築市庁舎の建築費は、個人の負担を軽減してほしい。個人の負担は各人で実施を願うより市が負担すべきではないか。...

問 新築市庁舎の建築費は、個人の負担を軽減してほしい。個人の負担は各人で実施を願うより市が負担すべきではないか。...

特筆される新屋婦人会

組織のよさと 精神的融和と団結

新屋婦人会は十七町内を単位に二十三班に組織され、大きな町内は動向の所はこの組織にある。...

答 商売となれば、なんと言つてもサービス第一をモットーとしなければなりません。...

問 県道の排水溝が降雨のたびに排水孔が詰って度々はんらんするから対策を立ててほしい。...

新年の賀詞

Table of New Year Greetings with names of officials and donors, such as 石山権作, 川口大助, 加藤謙蔵, etc.

Table of business advertisements including 高谷木材株式会社, 遠藤組, 武田材木店, etc.

上水道 第一期の配管終る

要所に防火体制一段と強化 給水申込みは約四百戸

昨年完成した新屋上水道は日メートルの配水池(貯水量六〇〇立方メートル)に送られ貯水されるが、比内町ハルプ住宅東上、標高五〇〇配管工事(布設管十二KM、増設分(二十七KM))を含めた総工費は二千七百万円、町内の主要配管工事も終り、各戸に配水を待つばかりとなつてゐる。各戸への配管は渡辺、小松岡ポンプ業者が請負つてゐるが、現在の申込み者数は約四百件である水道使用料は家庭用でメーター制一〇立方メートル毎に三〇円、一立方メートル毎に二〇円、定額制(月額)五人まで一七〇円一人増毎に三〇円である。



写真 完成された秋田市新屋配水池の貯水場と貯水池の内部

なを水道完成によつて消火栓も各所に用意されたので、新屋町の防火体制は従来の貯水池と異なり強化されたわけである。

文庫利用は貸出しのみに限り、貸出し期間は原則として一週間、一人一冊で、一般人、学生、生徒を対象とする。古いカードを持つていないものは印鑑を持参するよう。

入學 二百二十九名

身体検査は二月五日

本年の日新小学校を入学する児童名とほぼ同数である。通つて支所数は男一五七、女一七二、計三二九名となつており、昨年の三二七名が、転入、転出などの関係で通

宝くじに協力

二千二百枚消化

建設事業費の財源確保、道路補修財源充て込みのため行つた東北六県をプロットとする第二十二回東北自治宝くじの新屋地区に於ける消化目標は二、二〇〇枚であったが、町民の協力により、十一月二十日完全にこれを消化した。

男より女が多い

新屋の人口移動

新屋支所戸籍係に記録された昭和三十一年一月から同十二月末までの人口移動状況は次の通りである。

世帯数二、四〇九 人口二二、七〇五 男六、二四八 女一六、四四一 出生三九人 死亡九四人

年頭の辞

新屋支所長 大島昌一郎

昭和三十三年の年頭に當り、町民村合併がなされ、名実共に大秋田市と新年のごときを共にする市の実現を見、行政の効率化、内外多難の折柄、我々も斯く國際情勢に一員として活躍し、国内では経済安定、技術の振興が図られ福祉日本の建設に邁進してまいります。特に我々地方行政に於ては、併による行政機構の大改革であり、昭和十六年に新屋町が秋田市に合併し、廿九年には遊辺十二ヶ



市民の福祉向上、経済、文化、交通を各般にわたり大躍進を見たことでもあります。私達もこの期にのぞんで心を新たにし所員と共に業務の遂行に研さんする覚悟であります。昭和三十三年を翻つてみれば、新屋町発展の施策が著々実現され、その緒につかんとするものもありませんが、これは、一重に關係方面の御尽力と町民各位の御力の賜であり、深く敬意を表する次第であります。

民生 表彰さる

新屋地区民生委員は十四人だが、このうち永年社会福祉更生指導のため尽力して来た人々が昨年八月それれ、表彰された。

厚生大臣表彰 横山多吉(勝平町) 表彰 小野島太郎(船場町) 鹿渡谷市蔵(北新町) 森川亮治郎(上表町) 渡辺エン(征町) 佐々木銀左衛門(緑町) 金原昭(関町) 川口みさを(中表町) 以上九名

引揚給付裁定は百件?

書類不備で返還続出!!

新屋支所管内の引揚給付金請求者は三百五十件、約千人であるが七月から始まつた給付請求手続は中途で手続が改正され再提出を必要としたことなどもあつて、十二月十五日現在で県へ送付したものは二百件、書類不備で返されたもの百件、未だ支所から県へ送られていないもの三十件となつてゐる。県に受理された百件は裁定になるものと見られ、給付金は公債で四月頃支所を通じ交付されることとなる。

共同募金に功勞

共同募金功勞者として比内町班長中川ミツ子、愛宕町班長斎藤トミ子は、県募金委員会から表彰され、十二月十七日大島支所長から両人に対し表彰状が送附された。

高橋さんの善行

スクールカーに咲く美談

雄物新橋流失のため郡山地区の児童を避難させている船場町の高橋新蔵君は毎日四台のスクールカーで日新小学校に通学している。朝七時五十分の二台に四、五、六年、八時十分の二台に一、二、三年の児童を運ぶが、多勢の児童たちが毎朝きまつた短時間にバスに乗るには相当学校側の指導訓練がはたされてゐるもの、並たいていこのことでは、PTAのして町の時は高い。

ハルプ操短にはいる

輸出下向の連鎖的影響

ハルプ操短による余波は下請の総にも及び、共栄組は相当数の解雇者を出す結果となつたが、化セン業界が外国輸出に販路を求めた関係上、國際經濟とのつながりから、生産のバランスをとらざるを得なくなつたものと見られる。

新屋 窓口紹介

徴税	小坂 保博
徴税	渡谷 義郎
市民税	相原金之助
	大島 俊雄
	遠山 稔
社会福祉	菅野 哲
国保	菅原 三郎
厚生	大島 理吉
衛生	高島 鉄朗
保健婦	築田カツ子
保健婦	高橋イヅナ
保健婦	菅原フミ
保健婦	大島昌一郎
保健婦	斎藤 一郎
保健婦	堀井 金治
保健婦	池田 正治
保健婦	高橋ミヨ
保健婦	竹村龍三郎
保健婦	大川まり子
保健婦	(以上三十一名)

共同募金に功勞

共同募金功勞者として比内町班長中川ミツ子、愛宕町班長斎藤トミ子は、県募金委員会から表彰され、十二月十七日大島支所長から両人に対し表彰状が送附された。

秋田 欄干取換へに着手

秋田大橋の欄干は腐朽破損し危険結果、取換へに着手に着手。至急取換へを要するところとなり、欄干の取換へに着手した。

新屋 窓口紹介

支所長 大島昌一郎
支所長代理 池田正治
庶務係 係長 同
百籍 大沢 四郎
渡辺 久夫
一般庶務 相原 信
便丁 堀井 喜
佐藤 末
小松千代
係長 小松千代

新屋 窓口紹介

支所長 大島昌一郎
支所長代理 池田正治
庶務係 係長 同
百籍 大沢 四郎
渡辺 久夫
一般庶務 相原 信
便丁 堀井 喜
佐藤 末
小松千代
係長 小松千代

昭和三十三年 新年 1958

東北ハルプ労働組合

秋田支部長 近藤 甫
副支部長 塚田 金作
書記長 石黒 専松
會計 渡辺 茂保

秋田銀行新屋支店

支店長 大門 円次郎
電話 五二〇八
七二二七

東北プロック工業株式会社

取締役社長 土門 竹三郎
中川原 電話 五三六八
茨島工場 二七九四

共栄運輸株式会社

取締役社長 横山 吉蔵
電話 五三九六
共栄 五三九七
共和 五三九八
五三九九

東北ハルプ秋田工場

取締役 龍山 萬丈
工場長 電話 五五五一
八

